

2021.10.1
日本銀行山形事務所

今回山形短観における主な判断、事業計画の動き

(2021年9月調査)

1. 業況判断

9月調査では、製造業は小幅悪化の一方、非製造業は小幅改善したため、全産業では0と前回調査と同水準となった。因みに、前回調査では悪化、水準は▲3を予測していた。

製造業・・・化学やはん用・生産用・業務用機械が「良い」超のまま横這いとなった一方、輸送用機械や電気機械が悪化したため、全体では10と前回調査から▲1ポイントの悪化となった。前回調査では、水準は9を予測していた。

非製造業・・・宿泊・飲食・対個人サービスが悪化したものの、建設や卸・小売が改善したため、全体では▲8と前回調査から2ポイントの改善となった。前回調査では、水準は▲13を予測していた。

先行き(2021年12月予測)は、製造業、非製造業とも悪化するため、全産業では▲5と▲5ポイントの悪化を予測。

2. 売上・収益計画

(1) 売上高

2021年度(計画)は、製造業は前年度比8.6%の増収、非製造業は同0.5%の増収となり、全産業では同4.8%の増収計画。

前回調査との比較では、非製造業(修正率0.0%)は不変であったものの、製造業(同1.9%)が上方修正され、全産業では1.0%の上方修正となった。

(2) 経常利益

2021年度(計画)は、製造業は前年度比58.9%の増益、非製造業は同▲27.4%の減益となり、全産業では同28.1%の増益計画。

前回調査との比較では、非製造業(修正率▲6.2%)は下方修正されたものの、製造業(同26.0%)が上方修正されたため、全産業では17.8%の上方修正となった。

3. 設備投資額（含む土地投資額）

2021年度（計画）は、製造業で前年度比80.5%の増加、非製造業は同83.9%の増加となり、全産業では同82.5%の大幅な増加計画。

前回調査との比較では、製造業（修正率▲2.1%）は下方修正されたものの、非製造業（同3.5%）が上方修正されたため、全産業では1.1%の上方修正となつた。

4. 雇用

雇用人員判断・・・ 製造業では「不足」超幅が縮小した一方、非製造業では「不足」超幅が拡大した。この結果、全産業では、「不足」超幅が拡大した。先行き（2021年12月予測）は、非製造業を中心に「不足」超幅が拡大する予測。

以 上